

「山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（素案）」 に対する意見の募集結果について

「山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（素案）」に対して県民の皆様から提出された御意見、これに対する県の考え方及びこのたび策定した「山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」を公表します。

1 公表する資料

「山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」

2 パブリック・コメントの実施状況

(1) 募集期間 令和5年7月14日（金）から令和5年8月14日（月）まで

(2) 意見の件数 13人 19件

3 提出いただいた意見とそれに対する考え方

	意見の内容	意見に対する県の考え方
	本方針策定の趣旨等（2件）	
1	4ページ（同内容 19 ページ）について「できるところ」の表す意味が曖昧。できる地域なのか、できる箇所、環境整備なのか書いてあるとわかりやすい。	御意見については、地域の実情に応じて、地域移行の時期や環境整備の方策など様々な取組を想定していることから、原案どおりとさせていただきます。
2	4ページ（同内容 19 ページ）について「できるところ」の表す意味が曖昧。	
	I 新たな地域クラブ活動	
3	5ページの地域クラブ活動の要件について、ある程度の安全性や組織体制が確立した地域クラブ活動とお金を払ってでも競技力にこだわるスポーツ団体とが区別されるのは賛成です。 子どもたちにスポーツを続けてもらうためにも、地域クラブ活動の運営団体には、移動面やお金の面の支援などをしっかり見える形にしてほしいです。	御意見については、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。
4	7ページについて、実際に地域クラブ活動で起こったトラブルや指導者との関係において、学校やそれを総括する市町の教育委員会に相談窓口があった方が、中学生やその保護者は相談しやすいのではないか。今後、生徒の相談に対する支援体制は、どこが主体となっていくのかが素案を読んだだけではわかりにくいのではないか。できれば、今のように学校を中心に相談できる体制があるとありがたい。	御意見を踏まえ、市町や学校等と連携した相談体制の確保について追記しました。
5	7ページについて、「研修機会」を充実する。」は、「研修機会を充実させる。」または、「研修機会の充実を図る」の方がよい。	御意見を踏まえ、「研修機会を充実させる」と修正しました。

	意見の内容	意見に対する県の考え方
6	8 ページについて、「生徒の安全の確保や暴言・暴力、……も根絶する。」の表現では、安全の確保も根絶するように読み取れる。 「生徒の安全確保に努め、暴言・暴力……を根絶する」の方がよい。または、暴言・暴力は一文からはずし、最後に「暴言・暴力は、決してあってはならない。」のように、別の文としてつける。	御意見を踏まえ、御指摘の記載内容を修正しました。
7	9 ページについて、希望すれば従事できると読み取れる。「地域クラブの在り方を十分に理解した上で希望する場合は～」と趣旨に協力的であることを求めています。	御意見については、本方針で地域クラブ活動の在り方を位置付けていることから、原案どおりとさせていただきます。
8	9 ページについて、指導者に活動経験のある大学生や高校生が含まれているが、学生だけに指導を任せることがないようにしなければならない。	高校生や大学生は、主に指導のサポートスタッフや、幅広い年代の合同練習において下の年代を指導する者となり得ることを想定し、記載しています。希望する学生が地域クラブ活動において指導のサポートなどに関わることは、多世代との交流による新たなコミュニティの創出や、将来的に地域の指導者としての活躍が期待されます。
9	9 ページについて、部活動改革を進める上で、指導者の確保は大きな課題であるとともに地域のスポーツ団体も確保が重要であると思います。人材バンクは、指導者だけでなく、受け皿のクラブや団体等も登録・検索できるようなシステムにしたらいのではないのでしょうか。	御意見については、今後の人材バンクに係るシステム構築の検討を進める上で、参考とさせていただきます。
10	10 ページについて、地域クラブ活動において、記載されている休養日・活動時間を遵守することは、休日を中心に活動しようとしている団体にはかなり運営が困難になるのではないかと。 指導者も仕事等で平日の活動が難しい中、適切な休養日等が柔軟に対応できる内容を示すべき。	御意見を踏まえ、「注釈」として、適切な休養日の設定についての考え方を記載しました。
Ⅲ 大会等の在り方の見直し（1件）		
11	21 ページについて、特別支援学校の大会に限らず、大会を運営する場合には学校における働き方改革の動向に注意する必要があると考えるのですが、なぜあえて特別支援学校の大会にだけこの一文が付け加えてあるのか理由があるとわかりやすいです。	特別支援学校等に在籍する生徒のスポーツ・文化芸術への参画を促進する観点から明記しており、原案どおりとさせていただきます。
その他（8件）		

	意見の内容	意見に対する県の考え方
12	<p>子どもたちの心身の健康に繋がる要因にスポーツが挙げられると思っている。</p> <p>環境整備が整っていない中、学校の働き方改革の名目で、学校において子どもたちのスポーツ活動の機会が失われるなどで、子どもたちや保護者に皺寄せがきている。</p> <p>こどもの心身を健全にすることよりも「働き方改革」が大事なのか。</p>	<p>学校部活動の地域移行については、少子化が進行する中、部活動を従前と同様の体制で運営することが困難となっていることから取り組むこととしており、今後、学校、地域、保護者等の関係者の合意形成を図りながら進めてまいります。</p>
13	<p>田舎では、生徒が部活動に所属するという考えが当たり前という方がほとんどである。地域住民への周知が先なのではないか。少子化により、人数の必要な部活動は合同チームとなり、練習試合などの送迎により保護者負担が増加する。少人数の部活動の実態を把握や、移行期間にあたる家庭を考慮してほしい。素案に保護者負担の内容が乗っているが、移行期間にすぐにでも送迎面について取り組んでほしい。練習試合等も考慮して頂き、少人数で行っている部活動を救うことも考え、今後の流れをもっとわかりやすく周知して頂きたい。</p>	<p>保護者の送迎等の負担については、費用面などの配慮が行われるよう、国の支援方策に沿った支援に努めることとしています。また、周知については、リーフレット等の配付などにより、保護者等への理解促進に努めてまいります。</p>
14	<p>公立中学校等に通学する障害のある生徒が、障害者スポーツ指導者資格を有する指導者のもと、障害のない生徒とともに地域クラブ活動に参加することは、望ましいことと考える。一方で、生徒の障害によっては、地域スポーツクラブ活動を継続するよりも、パラスポーツに取り組む方がより有益な場合もあると考えるが、パラスポーツと出会う機会が少ないように感じるケースがある。</p> <p>地域スポーツクラブ活動の指導者には、障害のある生徒の意欲や障害の状況等に応じ、パラスポーツと出会う機会の創出に配慮されるようお願いしたい。</p>	<p>障害のある生徒も含めたスポーツ・文化芸術活動機会の確保に向け、関係機関・団体等と連携を図りながら進めてまいります。御意見については、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。</p>
15	<p>国が一律に移行の完了時期を示さなかった中、県独自で目標を定め、県の実情に応じた改革の方向性であることを読み取ることができた。</p> <p>《地域クラブ活動の要件》や移行の手順、移行のモデル・イメージなど要所で県独自の内容が盛り込まれた方針になっており、山口県のガイドラインはレベルが高いように見えた。</p> <p>今後、この方針がただの絵に描いた餅にならないように県がしっかりと市町を支援し、山口県の子どもたちのためにいいものになるように進めていただきたい。</p>	<p>将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保できるよう、県及び市町が連携を図りながら施策を推進してまいります。御意見については、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。</p>

	意見の内容	意見に対する県の考え方
16	市町区域外での活動となると、金銭的な負担や送迎などの課題が生じ、子どもがスポーツをしたくても保護者の都合で希望がかなえられない場合も出てくる。学校施設での活動ができるよう、子どもたちが身近な地域で気軽に活動できる環境づくりに努めてほしい。	学校施設については、地域クラブ活動が活用できるよう体制整備に努めることとしています。御意見については、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。
17	地域クラブの活動に当たっては、子どもたちの志向に沿ったクラブが選択できるよう、クラブの活動方針等を明示するようにしてほしい。	地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、子どもたちの多様なニーズに合った活動内容に努めることとしています。御意見については、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。
18	学校部活動では、専門外の教員が顧問を務めている場合が多いので、子どもたちが、より専門的に学べる環境が作られることを願っています。	指導者については、資質向上を図るため、研修会等を実施するとともに、専門的な指導者の発掘・把握のため、人材バンクを整備することとしています。御意見については、今後の具体的な検討を進める上で、参考とさせていただきます。
19	少子化が進行する中、子どもたちのスポーツの機会を確保するため、部活動改革の方向性は理解できる。学校の意識改革に加え、保護者、地域の理解促進に努めるとともに、市町や学校単位での移行スケジュールを早期に示してほしい。	御意見については、リーフレットの配付等による周知・理解の促進に取り組むとともに、市町や学校等と連携を図りながら、地域の実情に応じた取組を進めてまいります。